

における き

アクション・プラン

()

- (1) アクション・プランに る の
- (2)
- (3) の
- (4) に る ()の
- (5) の

- (1) アクション・プランの
- (2) と す、 に する び
- (3) び の
- (4) における と の ・
- (5) や への
- (6) ・ が う の の の

- Action の と の
- (1)
 - (2) ・ との
 - (3) スタッフ の
 - (4) の の び ・ の

- Action に わる の
- (1) の
 - (2) ・ に る の
 - (3) に る の
 - (4) の

- Action の しなどによる
- (1) の
 - (2) の ・
 - (3) な の ・
 - (4) な の
 - (5) 「チーム 」としての の
 - (6) への
 - (7) の に する し

- Action の を す
- (1) き の を める の
 - (2) ワークライフバランスを した き の
 - (3) き に する の
 - (4) これまでの の な

- Action サポート の
- (1) メンタルヘルス の
 - (2) トラブル に した のサポート の
 - (3) の し
 - (4) ・ の ・ し
 - (5) が する の し
 - (6) び などの の
 - (7) における の しの

における き の に たつての

で な が しつつあると われる で、 さを す や
が の り にも きな を ぼしている。

このような の しい に きる どもたちは、 の さや を す
るとともに、あらゆる を のある として し、 な 々と しなが
ら 々な を り え、 かな を り き、 な の り と
なることのできる や を に けていく がある。

○ そのための びの となるのが「 の 」であり、その に け
、 の い となる には、 を って、 に しい や を び
け、 ども の びを に き していく がこれまで に められ
ている。

○ 、 として の が いという に え、 に
が となるなど、 を っては すべき も しており、 の
を させていくことが の となっている。

○ における き により がこれまでの き を し、 どもたち
と き う やらの びを めるための を していくことは、「 の い
び」と「 な 」の に つながるものであり、 が「 きやすさ」と「
きが い」を する となるよう、これまで に のある を めていく
がある。

() 31 (2019)
(2023)

() ()
ラン」という。)を し、 の の に けた を めてきた。その
な の と は のとおりである。

(1) **アクション・プランに る の**

Road

の 、これらの の の が られている。

(2)

の と、 ども がそれぞれ を ち、 に できる の を
(2020)

のスタイルが きく した。

し、 かつ なデータ や の 、クラウドサービスやデジタル を した の など、 の の が められている。

(2023)

りに する 」の に づき のデジタル を しており、こうした の を まえながら、 の や データの に り む がある。

(3) の

の は、 の ましい のために、 の で な の な により、 の に じスポーツ・ の を り、 を することを すものであり、この は、 における き を し、 の の にもつながるものである。

(2022)¹²

ブ の り に する なガイドライン」に づき、 の におけ

のため、 や とも し、 の の な について、 り めていく。

(4) に る ()の

の により、 の が されたこと を まえ、 や である に められる として、 においては の ・ が われている。

では、 アクション・プランの として、 の の 45 360

、 には っていない である。

(5) の

では、 の のほか、 の ・ 、スクール・サポート・スタッフや (・)、 の スタッフの などに り んできており、 き の が に している がうかがえる で 、 の の には が られるものの、 として の がある となっている。

その には、これまでの が ずしも の や き の に び いておらず、 が うべき や が う のない に る 、 の が な の し・ が に んでいないといった があ

るものとえられる。

(2023)

うのいのためのにするなについてのをめ、
き()」「(「)という。)がされた。

(2023)

2023」においても、がうのをはじめとした「のいの
」が、のをえる・のためのとしてりまれている。

(2024)

これまでのをしつつ、などをまえ、なる・をり、
と、とがにしながら、かつに、のある
をめていくがある。

()

におけるきのは、「のこれまでのきをし、らの
をくとともに々ののやをかにすることで、らのや
をめ、どもたちにしてなをうことができるようになること」で
ある

ではこれまで、アクション・プランにづきにおけるきをめ
てきたが、としてのにはっていないであり、きのを
するため、アクション・プランのをりくのをに
させるとともに、これまでののやをまえたたなアクション・プラン(
「アクション・プラン」という。)をし、よりのいきをして
いく。

(1) アクション・プランの

アクション・プランは、「のののなその
のをするがのびのをるためにすべき
()

(1) ののにする」(46 61 。
)

()
びのをるためになをめるものである。

(2) とす、にするび

(2) (1)

に する び を する。 の の に けて、 の と おり 、 す 、

(3) び の

ア の における き を めるための や する に する の の に する に づき、 に する。 における き を めるため、 の に じた を に する。 、 における き の を に ・ し、 な の を する。 に、 の が の を えた に しては、 における や の について に を う。

イ の は、「 」や「 」に き を に け、 の の、「 」を した き を め、 の を する。 は、アクション・プランに げる な を するとともに、 Road それぞれの に じた を に する。

(4) における と の ・

ア を とし、 と が ・ し、 となつて り みを める。

イ の ・ は、 の の を うとともに、 を するなどして の に め、 を る。 また、アクション・プランの の を するとともに、 の の や の を まえ、 の や を し、 に じてアクション・プランの しを う。

ウ の は、 から される、 の に る を とし、 す。

エ との は、 の の な その の び を るた めに ずべき に し、 と を し、その めに じて に す る を うほか、 な を めるなど、 に を る。

(5) や への

子どもたちへの は、 、 が ・ しなうものであり、
その となる の や の が である。 子どもたちに
な を うという「 における き 」の について、 ・
の を めるなど、 で を することが である。
このため、 においては、 の を に に けるとと
もに、 において として り げ、 ・ とより
なコミュニケーションの で を るなど、 を たしながら、
に を うよう める。

に し、 における き の について に を るとともに
、その を に する。

(6) ・ が う の の の

を まえ、 が し、 に われている について、 の を
ける で い って することや、 あるいは との において に
・ することができるよう、 それぞれが としなうながら、
や の の に める。

の を するための による「 の 」も に、 、
のそれぞれが を たしながら、 を める。

には が う の だが、 ずしも の だが、
べき が う のない が な
に する ・ への の () と との)
から などに の み に ()
おける り、 が おける (、 ボラ へのサポートスタッフの)
された の (、 ボ や ()
ランティア) へのサポートス
タッフの)
ボランティアとの (の ・ ()
) との 、)

その の に じ の ・ は (や
て、 や の ではないが、 との ・)
、 、 ほとんどの ・ で が な
や ボランテ 。 くの が を ・ への (スタッ
ィア が うべき。 わざるを ない 。 フとの ・)

Action の と の

(1)

« ・ »

が の に けて、 られた ・ を に しなが
、 に な に するため、クラウドサービスやデジタル 、 シ
、 の による の を る。

« »

いて や を む な を できるよう、 を す
る。

について らかにし、 が となった の を る。

の「 セキュリティポリシーに するガイドライン」の や データ
の の の を まえながら、 ・ ネットワークの 、 ス
クールネットや システム、 セキュリティ や、 システム での
などの を する。

データと データ、 データとの の リ やビッグデータの

えられるが、 の を する。

« »

、 の を まえるとともに、 のペーパーレス やスケジュー
ル のオンライン 、クラウド の の での 、 と の
を としてデジタル するなど、 の を る。

(2) ・ との

《 》

ともをねながら、やのをする。

《 》

やが、子どもたちになをうという「における
き」のをし、のになにいただけるよう、
ののやきのについて、なびをう

をとして、で子どもたちのびやをえるがされるよ
う、がのをする「」や、や
がにをする「コミュニティ・スクール」のをめるとともに、
のにじたなをす。

におけるきをむをりくについてに
のとするなど、とがとなってにおけるき
のをめるをする。

《 》

やにし、のや、についてのとせて、
から、のなどについてくするなど、のにめると
ともに、のきののについて、りやホームページで
するなど、そのをしてやにする。
などにおいて、きをにとしてりうなど、
にコミュニケーションをりながら、・・それぞれのをした
でについたなをし、なをめる。

(3) スタッフの

《 》

やのスタッフのをめる。

(4) ののび・の

《 》

において、やのの・をがっ
ているには、のにじてにをすることや、
インターネットバンキングのなど、がすることがないみを
していくことをす。

Action にわるの

(1) の

《 》

「 の の り に する 」(「 」という。)に づき、
のけがの や のリフレッシュなど への を するとともに
、 の における が にならないよう、 ての において
の に けた を める。

の な りを うことなど、その の を る。

・ の に たっては、 と ・ して
を める。

○

の
(
(
る。 は に で した は、 を の に り え
る。)。
また、 を する は、その を とし、 の
()

なお、 には で う や も わない。

の

(
)
な を う。

« »

を まえ、 において した に づいて し、 した
の び について、 は、 の を し、
・ を うなど、その を する。

(2) ・ に る の

« »

を まえ、 の の と の の から、 に
を し、その な を す。
の への について、 や を まえて、 び
を う。

« »

や の を まえた な とする。
の に が することがないように、 の などによ
り、 の や を る。
の 、 を う や な を う を
するほか、 との な により、 の の と

の を る。
の への について、 や を まえて、 び
を う。

(3) に る の

「 」
の が する の を し、 に される 々な
に することにより、 や の な とならないよう、 の
や を や に する。

「 」
が を じて に されることを に、 の の
、 や の が とならないことを して、 の が
する の に の を め、 する を する。

(4) の

「 」
(2025)までに、 を に い、 の に じて なり の
を す。

「 」
の や に する と を かし、 のスポーツ・
の に して、 び の や におけるスポーツ・
と ・ する。

Action の しなどによる

(1) の

「 」
の である が、 への や の により、 に
となっている を まえ、 の を に の に けた
を める。

への について、 と の を するとともに、
を め の しや などの を に める。

に する について、 や との などで し
た などを まえ、 や を する。

の けのリスクマネジメントや におけるいじめの への
のポイント、 の など、 の な に するオン
デマンド を するなどの を う。

への を に することができるよう、 の や
の におけるオンデマンド について、 の を る。

の を う の と の を るため、 と しなが
ら、 の に けた を する で、 の についても を
める。

« »

は、 な を うに たり、 や の しを め、
の も しながら を する。
と との からの を じて、 への を す
るとともに、 の の を る。

(2) の ・

« »

における の し が に われるよう な ・ を う。
の が の な とならないよう、 めて き の
と を や に するとともに、 の に な を う。

« »

それぞれの の を し、 としての を つためのものや
のみにとらわれて に っている を やめ、 に とされるもの
に することや、 より した に するため の や を るなど
、 の ・ を る。

においては、 との が く み まれている があることから、
めて き の と を や へ するとともに、
を じて を る。

カリキュラム・マネジメントの から、 と の を し、
、 とされてきた について、 えば、 における や に
おける といった など、 その や から の と け
ることが なものについては、 に の に める。

の ・ について、 と するなど、 の
を たり、 を したりするなどして、 の 、 を め
る。

(3) な の ・

« »

を きく った(・ は 1,086)
を ・ することがないよう ・ するとともに、 が になっ
ている や を えないうまま を きく る を し
ている には、 における の が に われるよう ・

を う。

「 」

の において、 は とし、 や
の の ・ により、 に った にするなど、 にマネジメ
ントする。

や 、 の を に するとともに、 を した
の 、 、 などの を するよう する。

(4) な の

「 」

に し、 の や 、 の について、
の を した を うとともに、 の に づき が
な に を するよう ・ を う。

の に せざるを ない には、 や の
など に入る を し、 の の りや の を
に うよう ・ を う。

の を まえ、 が する や の などに じて に
を する「シフト」の を する。

「 から までに の した を 」する (
インターバル)について、 に けた な り の を める。

「 」

は、 の を した で、 の や 、
について、 に する。

は、 には を しないなど、 が の に
を に することができるよう り む。

(5) 「チーム 」としての の

「 」

Road

における き に する の を し、その を ると
ともに、 や による れた やアイデアの を け け、 し
する。

「 」

Road

を したチーム に らず、 を えたコミュニケーションが と
なるよう、 のリーダーを えるなど、 としてのチーム に
する。

コアチームが となり、 を にアンケートや なデータをまとめ、
き における の を で するとともに、 いの を け、

のコミュニケーションを する。

らかになった の に けて を めるに たり、 な だけで
なく、 さな や を できるように ですぐに り かれる を
するなど、 き の を める。

はコアチームと し、 の き の をチェックリストによ
り し、 するとともに、フィードバックにより を するため
に、 の に けた き を し、 ・ に り む

の「き 」や の を にし、 の に じて
できるものは に り れるなど、 を する。

(6) への

« »

が とする の を に に かすとともに、
の の を ・ し、 で を えていたり、 んでいたりする に
は、すぐに けをい、 れた や 、 の となる を する
ほか、 に じて を するなどして、 が することのないよう
する。

(7) の に する し

« »

に の しを すなど、 の に けた ・ を う。

« »

されている 々な のうち、 の を う について、その
・ の を る。

Action の を す

(1) き の を める の

« »

これまでの にとらわれず、 の を ちながら、 き を に め
ている を に しながら、 の の を める。

を り し する。

き の や を まえた で、 き の を の
に する。

を む が を した き を できるよう の
を る。

《 》

は、「 」や「 」に き にする を に
け、 にる に たっては、 き のマネジメントに する
として、 えば、 の する や の など、
な を する。

は の ・ の を まえ、 の ・ を する
ほか、ストレスチェックを し、「 きやすさ」や「 きがい」の の を
するなど、 の や 々の を まえた な き を める。

は、 の の を して、 き にする を
るとともに、 かつ な の め について に えるなど、 の き
にする の を る。

に、 して を える には の を し、 の
しや を するほか、 の による や の を
するなど な となるよう り むとともに、 を い、
が80 を える については、 の を することなどにより き
への けを す。

(2) ワークライフバランスを した きの の

《 》

における き を に めるため、 がワークライフバラン
ス(と の)の を ち、 に することができるよう、
の しなどによる の に わせて、 の を める。

15 の の

したり、 と せた を するなど、 の を る

は、 て は を う が、 を もって に することがで
きるよう、 と て は を できる づくりを に める。

は、 の の から、 の への わりを
めることが であると し、 から における の につい
て への に めるなど、 が を に することが
できるよう に する。

は、 との
のための の が られるよう、 に し で な を うも
のとする。

(3) き にする の

《 》

に し、 を した き を させるため、
や の を することや、 き に する
のワークシート を し、 における の を す。

《 》

の ・ しなど、 き に する を する。

(4) これまでの の な

ア における「 」の

《 ・ 》

の を するため、 に の を し、
が を りやすい を する。

イ の な ・ と

《 ・ 》

「 システム」 を し、 の を に ・
する。なお、 において に している については、 に る
や の に る など、できる り な により ・
するよう める。

また、 は の を 、 する。

などにおいて、 の のデータを することなどにより、
の の な や の を す。

《 》

は、 を した を まえ、 の に するとともに、
の に が しないよう、 の や の を めるとと
もに、 が となっている への を い、ストレスチェックな
ども し、 な を う。

Action サポート の

(1) メンタルヘルス の

《 》

の な やストレスチェックの を るなど、 す
る の のメンタルヘルス を する。

《 》

は、 の な を するため、 に づき
や を するなど、 を するなど、
を する。

は、ストレスチェックを し、 の や 々の を まえ、
のメンタルヘルス に り む。

(2) **トラブル に した のサポート の**

« »

のみでは が しい への を するため、スクールロイヤーの
を め、 を する を する。

が や の に した に に することができる
よう、 や との の など、 との ・ を
する。

(3) **の し**

« »

や 、 などについては、 の なども まえ、その
や の の からの を きき うとともに、 の を に
えながら、 なる し、 を める。

の に たっては、 を に し、 に が す
ることのないよう する。

や から される を し、 で する がないものは
に しないなど、 の を る。

における について、その を するとともに、 の
に し、 テーマの や の 、 の を めた の
り についての な しを う。

からの や コンクール への 、 どもの の
の け について、 に し、 の に けた を
する。

(4) **・ の ・ し**

« »

の をはじめ、オンライン の など、 や の を
した ・ な の に めるとともに、 の について
は、 の を まえながら を する。

に している をはじめとした については、その の
から めて しを い、 も めて なる を う。

に の や を な とした については、オンラインでの を
する。

(5) **が する の し**

« »

に し、 たな に した の を める には、まずは の
の しの で することを とするよう ・ を う。

で する について、 の や の の 、カリキュ
ラム・マネジメントの の も まえ、 の や の に じ、
なり して するよう ・ を う。
の の な を るためにも、 の に じ、 の
が して し するなどの を する。
に を めている を に した で、スクラップ・アンド・ピ
ント・サイクルを えた のサンプル(ひな)を する。

(6) び などの の

「 」

、 、 び の の を に した につい
て で め、 の ・ を ることにより、それぞれが
の に し、 を できるような を するとともに、 がこ
れまで に ・ に に できる に める。
の な への 、 の の や が られる
よう、 や の に じて、 の を する。

(7) における の しの

「 」

と し、 の を するとともに、 や に し、
めて き の と を し、 への の を え
るよう ・ を る を する。

における き の に たつての

- (1) の については、 が まで することを す
る ではないことに すること。
この は「 における き 」の な の として するもので
あり、 の を ぐための の と せて り まれるべきものであ
ること。
- (2) び の は、 の を ぐための を ずること
なく、 や に し、 を することを めるのみであってはならな
いこと。
- (3) の について に の とすることが し、
など の であって に な であるものをおろそかにする
ことや、 の より い の を し、 は させることがあってはなら
ないこと。
- (4) 、 の ち りは わないことが であり、 を することのみを
として に ち っ て を う が することは、 に けなければなら
ないものであること。
び の は、 の ち りが われている がある には、
その に めるとともに、 の ち りの に けた を めること。

【 261 】

261) 22
び の 、 の 、 (の び (25)
び をいう。

が にする をっている (の におい)
ることができる を とし、 のア びイの をえ、ウ びエの をく
をいう。

ア において として う への や の の に して
いる として にする
イ (をしてう) の
ウ の にらの にづいてらの をめるために う
の その の (の にづくものとする。)
エ
の

(が された をく。) の における の をいう